

スペシャル インタビュー 持続可能性のある社会の実現を目指して 羽衣国際大学 にしやんた教授

「違い」と正しく向き合うことの重要性

スリランカ民主主義共和国出身の社会学者として、現在は羽衣国際大学(大阪府堺市)の現代社会学部で教鞭を執るにしやんた氏。大学現場で活躍する一方、多くのテレビ番組やラジオ放送に出演するなど、タレントとしての活躍も目覚ましい。学生時代の経験や思い出と共に、現代の日本の教育と急速に進む国際化についてお話をうかがった。



にしやんた
にしやんた●1969年、スリランカ民主主義共和国生まれ。2005年、日本国籍取得。羽衣国際大学現代社会学部教授。学位は博士(経済学)。専門はアジア経済、多様性の活用による組織づくりなど。社会学者、タレント活動等で大きな注目を集めている。

自分の強みを活かして 身近な人から幸せにしたい

—ある意味異色の教授でいらっしゃいます。
羽衣国際大学の現代社会学部において、放送・メディア学科の特任教授をされています。また、メディア出演や講演等にも積極的に取り組んでいます。
大学教員を目指すきっかけになったのは、いまから思うと、日本語学校で学んでいた当時の状況にあったように思います。雄琴温泉の旅館で布団の上で下着などの係として働いていました。社会にふれる機会、まして

にしやんた氏の 学生時代

1987年にボーイスカウトのスリランカ代表として初来日。当時18歳であったが、母国のスリランカとは文化や風習、社会の環境など、何もかも異なる「日本」に衝撃を受け留学を決意。その後、一度は帰国するも、父親が家を担保に用意してくれた7万円と片道の旅券を手に来日を果たした。
日本語学校に通っていた当時は雄琴温泉で住み込みで働き、大学時代は4年間新聞奨学生として毎日朝刊と夕刊の配達などを行い、自分で学費を稼いで進学する「自力進学」を果たしたのだという。
また、積極的にスピーチコンテストに参加し、参加したすべての大会で優勝をさらうなど「スピコン荒らし」の異名も。学部の卒業生総代を務め、卒業式では壇上で和服姿のバック転のパフォーマンスを披露して会場を沸かせたエピソードが残っている。

それに、私は「スリランカ」として、現在は羽衣国際大学(大阪府堺市)の現代社会学部で教鞭を執るにしやんた氏。大学現場で活躍する一方、多くのテレビ番組やラジオ放送に出演するなど、タレントとしての活躍も目覚ましい。学生時代の経験や思い出と共に、現代の日本の教育と急速に進む国際化についてお話をうかがった。

人間に必要なのは、国際力ではなく「民力」

—学生との関わり方で注意している点を教えてください。
気軽に接する機会を設け、指導する部分はしっかりと線引きをするように心がけています。
教員と学生という「師弟関係」が存在する以上、「友人感覚」ではないかと考えているからです。私は学生時代、先生方にもよく話を聞いていた記憶がありますが、それは、私が先生方を尊敬し、その尊敬の念を態度にも表していたこと無関係ではないと思っています。
最近では、敬語を使えない学生が増加しています。もちろん時代の流れの中で、言葉や立ち振る舞いも変化することは想定しますが、師匠と弟子の立場や敬語といった文化は決して忘れてはいけない大事なものだと思えます。これは、学生一人ひとりの意識すべき点でしょう。教育者として、こういった点もしっかりと伝えていきたい。

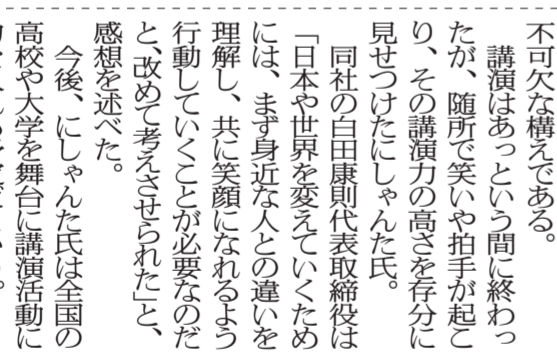
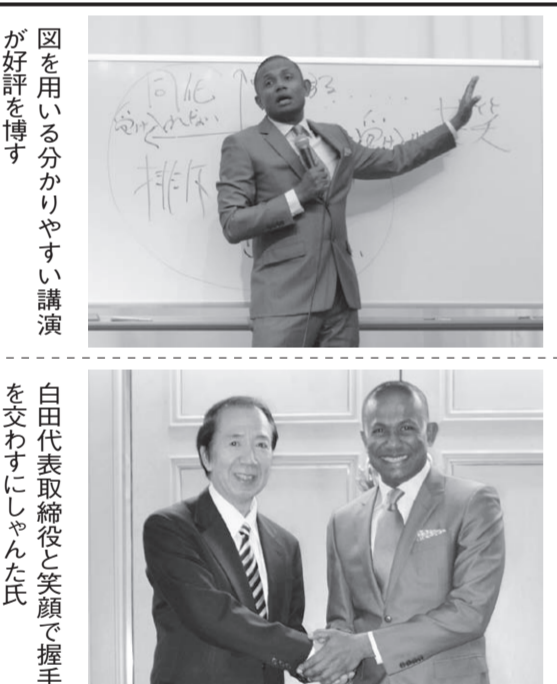
—日本の教育システムが優れている点を教えてください。
母国・スリランカの大学進学率は数%に過ぎません。その点から、日本では、大学進学を誰もが持てる環境であることが、とても素晴らしいと思えます。また、自分に合った大学を選べるだけの多彩な学校が選択できるようにもなっています。しかし、このことを日本の人々は十分に理解していない印象があります。
私が龍谷大学(京都市)の大学院生時代に所属していたゼミの鶴見良行先生は「ほんまもん」の学問は教室の中にはない」として、こういった点もしっかりと伝えていきたい。

「共笑」の社会を目指して

—「共笑」の社会を目指して、どのような取り組みを行っていますか。
4月3日、株式会社ライオンアカデミー(本社東京・新宿区)の新入社員歓迎会において、にしやんた氏による講演会が行われた。
同社の新入社員51人、社員・役員一堂を前に登壇したにしやんた氏は、日本の習慣や各国の文化について笑いを交えながら紹介。「人間は『違い』と聞くとなかなか受け入れられず、敬遠しがち。今後の良い社会を構築していくためには『違い』と向き合うべきだ」というメッセージを込めて、テーマとして掲げられた。

—「共笑」の社会を目指して、どのような取り組みを行っていますか。
4月3日、株式会社ライオンアカデミー(本社東京・新宿区)の新入社員歓迎会において、にしやんた氏による講演会が行われた。
同社の新入社員51人、社員・役員一堂を前に登壇したにしやんた氏は、日本の習慣や各国の文化について笑いを交えながら紹介。「人間は『違い』と聞くとなかなか受け入れられず、敬遠しがち。今後の良い社会を構築していくためには『違い』と向き合うべきだ」というメッセージを込めて、テーマとして掲げられた。

—「共笑」の社会を目指して、どのような取り組みを行っていますか。
4月3日、株式会社ライオンアカデミー(本社東京・新宿区)の新入社員歓迎会において、にしやんた氏による講演会が行われた。
同社の新入社員51人、社員・役員一堂を前に登壇したにしやんた氏は、日本の習慣や各国の文化について笑いを交えながら紹介。「人間は『違い』と聞くとなかなか受け入れられず、敬遠しがち。今後の良い社会を構築していくためには『違い』と向き合うべきだ」というメッセージを込めて、テーマとして掲げられた。



講演講師をお探しの方へ
「話」のプロ 180人以上の講師が登録!!
ライセンアカデミーが誇るカリスマ講師陣
教育の「講演講師ナビ」を運営するライセンアカデミーでは、学校関係を中心に年間約5000件の講演会・イベントを開催しています。お客様のご要望に沿った適任の講演講師をご紹介します。講演会開催までトータルにサポートいたします。講演講師をお探しのみならず、ぜひとも、「講演講師ナビ」をご活用ください。
教育の『講演講師ナビ』
http://kouenkoushinavi.com
お問い合わせ
進路情報研究センター ライセンアカデミー
03-5962-5970